第24回 ヨウ素学会シンポジウム

◆ 日 時 : 2021 年 9 月 10 日 (金) 9:00~17:45

◆ 場 所 : オンライン ◆ 主 催 : ヨウ素学会

◆ 共 催 : 千葉大学、(公社)日本化学会、日本ヨウ素工業会 ◆ 協 替 : (公社)日本薬学会、(公社)有機合成化学協会、

(公財)千葉県産業振興センター、(一社)千葉県製薬協会、千葉工業大学

千葉大学ソフト分子活性化研究センター

< I 部~Ⅳ部:講演>

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:00~9:05	挨拶	加納博文 会長		
I剖	3: 座長 (八谷	巖)			
1	9:05~9:45	招待講演	超原子価ヨウ素試薬の新規活性化法の開発 一水素結合からハロゲン結合そして光励起への展開—	竹本佳司	京大院薬
Ⅱ剖	: 座長 (松本	祥治)			
2	9:45~10:00	一般講演	超原子価ヨウ素化合物と銅触媒を用いる イナミド合成法の開発	○多田教浩・伊藤彰近	岐阜薬大
3	10:00~10:15	一般講演	超原子価ョウ素を用いたスルホニルオキシラクトン化 におけるイオン間非共有結合性相互作用を活用した 位置選択性制御	○藤江昌樹・西本能弘・ 安田 誠	阪大院工
4	10:15~10:30	一般講演	ジアリールメチレンアミノ基を有する超原子価ヨウ素 反応剤を活用するエノラート類の酸化的アミノ化	○奥松大地・清川謙介・ 南方聖司	阪大院工
(5)	10:30~10:45	一般講演	次亜塩素酸ナトリウム5水和物と二酸化炭素を用いた 超原子価ヨウ素試薬の実用的合成法の開発	〇宮本和範・渡邊勇一郎・ 高木泰成・岡田倫英・ 外山高志・今村真治・ 内山真伸	東大院薬・日軽金・ 信大RISM
Ⅲ剖	: 座長 (南方	聖司)			
6	10:45~11:25	招待講演	Use of Iodides to Activate Sodium Hydride in Chemical Synthesis	Shunsuke Chiba	Nanyang Technological University
IV部	: ポスター発表	ショートスヒ	<u>^</u> チ		
	11:30~12:15	19件× 2分	: 45分(交替時間含)		

< V部: ポスター発表、企業展示> ブレイクアウトルームにて

	*時間;	展示 12:30~14:55	・・・・・発表と質疑(奇数番号のポスター13:15~14:05、偶数番号のポスター14:05~14:55)
	ポスター発表	発表件数 30件	物理化学、有機化学、触媒化学、生物活性、利用、応用、実用品の開発と製品紹介 など
	企業展示		ョウ素製品等の展示、ョウ素分析機器等の展示 (時間; 随時)

< VI 部 ~ WI 部: 講 演 >

	15:00~15:05	学会賞授賞	式(受賞者:荒井孝義)		
VI剖	7: 座長 (石原	一彰)			
7	15:05~15:45	受賞講演	ヨウ素の高機能化:ハロゲン結合によって駆動する 協奏機能不斉触媒	荒井孝義	千葉大院理
VII剖	3: 座長 (高原	茂)			
8	15:45~16:00	一般講演	フッ素化多環芳香族分子のヨウ素化反応を鍵とした 全フッ素ヨウ化ペリレンの精密合成と構造解析	○大塚尚哉・大田陽野・ 藤波 武・鈴木敏泰・ 椴山儀恵	分子研・総研大
9	16:00~16:15	一般講演	ョウ化フルオロアルキルを開始剤休眠種とする 光制御ラジカル重合	○荒瀬瑞月・田中美邑・ 神原 將・矢島知子	お茶大院理
10	16:15~16:30	一般講演	機械学習による超原子価ヨウ素化合物の 結合解離エネルギー予測	○中島誠也・根本哲宏	千葉大院薬
(1)	16:30~16:45	一般講演	ヨウ化物シンチレータ材料の探索とその応用	○黒澤俊介・小玉翔平・ 藤原千隼・石川志緒利・ 大野真紀・上中あい・ 山路晃広	東北大NICHe・ 東北大金研・埼玉大理工
VIII剖	7: 座長 (海宝	龍夫)			
12	16:45~17:25	招待講演	ボトムアップ及びトップダウン手法による ヨウ素含有ペロブスカイトナノ結晶の作製とその評価	増原陽人	山形大院理工
\•//	夕 ≥井が今□十日日)寸 斤斤	KZ rt-kk ant-HH	- ハナ ムッユ ト	·	·

※各講演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

17:30~17:45	ポスター賞発表
17:30~17:45	ハクター貝

ポスター発表プログラム

Zoom ブレイクアウトルーム開設 12:30 より

〇ショートスピーチ(動画) 11:30~12:15 (メインセッション)

○発表 13:15~14:05 (奇数番号)、14:05~14:55 (偶数番号) (ブレイクアウトルーム)

番号前に「S」がある発表はショートスピーチ予定

No.	発表タイトル	〇発表者・研究者	所属団体
01	超原子価ヨウ素化合物とジアリールスルフィドの反 応による求電子的アリール化試薬の開発	○諸藤達也・吉田起大・狩 野直和	学習院大理
02	超原子価ヨウ素試薬を用いた β -ケトエステル類の 触媒的 α -シアノ化反応	○日向勇貴 ¹ ・渡邊孝道 ² ・ 緑川晃二 ² ・柳澤 章 ¹	¹ 千葉大院理・ ² 日宝 化学
03	超原子価ヨウ素試薬とキラル銀触媒を用いたβ-ケ トエステル類の不斉α-トリフルオロメチル化反応	○林 哲成¹・渡邊孝道²・緑川晃二²・柳澤 章¹	¹ 千葉大院理・ ² 日宝 化学
S04	超原子価ヨウ素部位を有するビアリール化合物の位 置選択的 C-H 官能基化	藤江昌樹・○水船恭平・西 本能弘・安田 誠	阪大院工
S05	Short-Step Synthesis of Hexaazatruxenes by Consecutive N-H/C-H Coupling Using Hypervalent Iodine Reagents and Evaluation of Their Photophysical Properties	O Yuchen Wu ¹ , Takuma Sasayama ¹ , Takashi Otani ² , Takanori Shibata ¹	¹ Waseda Univ.; ² National Inst. Tech., Anan Coll.
S06	ジイニル超原子価ヨウ素化合物を用いる 1,3-ブタジイン合成法の開発	○臼井 傑・多田教浩・山 □英士・伊藤彰近	岐阜薬大院
S07	超原子価ヨウ素酸化剤を用いたフェノールーアルケ ンカップリング反応の開発	○出口裕己・花屋賢悟・須 貝 威・東林修平	慶大薬
08	超原子価ヨウ素酸化剤を用いた位置選択的水酸化と 1,2-転位による置換カテコール類の合成	○橋本理一・花屋賢悟・須 貝 威・東林修平	慶大薬
\$\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	中性ヨウ素とヨードニウムを基盤とするハイブリッ ド型ハロゲン結合供与体触媒の創成	○加藤雅之 ^{1,2} •藤波 武 ¹ • 椴山儀恵 ^{1,2}	1分子研・2総研大
S10	光学活性ビスアミノイミノビナフトール亜鉛錯体を 触媒とする分子間不斉ヨードエーテル化反応	○鈴木拓海・荒井孝義	千葉大院理
S11	新規不斉触媒としてのキラルハロニウム塩の開発お よび応用	○藤村竜平・吉田泰志・三 野 孝・坂本昌巳	千葉大院工
S12	高活性次亜ハロゲン酸塩触媒を用いるアレノールの 酸化的脱芳香族化反応	○加藤丈裕・ウヤヌク ム ハメット・石原一彰	名大院工
13	有機フォトレドックス触媒による酸化還元電位を制御したスチレン類のクロス[2+2]環化付加反応	○田中健太 ^{1,2} •岩間善則 ¹ • 星野雄二郎 ¹	¹ 横国大環境情報・ ² 東理大薬
14	ョウ素の特性を用いたオキサゾールの新規合成反応 開発とその誘導化	○齋藤絢・吉田和弘・東郷 秀雄	千葉大院理工
15	イミノ窒素ラジカルによる 1,5-HAT を用いた 2,5-ジ アリールピロールの新規合成反応開発	○中村桃子・吉田和弘・東 郷秀雄	千葉大院理工
S16	フラビン-ヨウ素触媒を用いるテトラヒドロイソキ ノリンと炭素求核剤の酸素酸化的脱水素型クロスカ ップリング反応	○三宅葉月 ¹ ・岡井駿樹 ² ・ 飯田拡基 ^{1,2}	¹ 島根大総合理工・ ² 島根大院自然科学
\$\bigsim \text{S17}	フラビン-ヨウ素触媒による酸素酸化的 C-N/C-S 結合形成反応を用いるイミダゾ[1,2-a]ピリジン誘導体の合成	○岡井駿樹・岡真里奈・小 迫 亮・谷本和雅・大門竜 馬・飯田拡基	島根大院自然科学

18			
	四ヨウ化チタン/トリメチルシリルヨージドを用い	○八谷 巌・名越信太朗	三重大院工
	た N-(2-シアノフェニル)ベンズアミドの環化反応に		
	よる 2-アリール-4-ヨードキナゾリンの合成		
S19	イナミドのヨード環化反応によるナフタレンの迅速	○沖津貴志・伊藤真歩・乾	神戸薬大
	合成	綾花・牟田絵美子・仲元瞭	
		太・安達祐太・和田昭盛・	
		波多野学	
20	o-エチニルチオベンズアミド類のヨウ素による環状	○永松拓人・赤染元浩・松	千葉大院工
	チオアミジウム塩形成における電子供与基の影響	 本祥治	
21	ョウ素によるジスルフィドとビニルシランからのジ	○福田くるみ・荻原陽平・	東理大理工
	チオアセタール合成	坂井教郎	
22		○文野和樹・小玉晋太朗・	
22	への展開	野元昭宏・小川昭弥	1/2/19/05/2
S23	11.24	○臼井 慧¹•田 旺帝²•	 ¹ 東工大物質理工・
3 <u>2</u> 3	解析とヒドロシリル化反応における活性評価	し口升	² 国際基督教大教養・
	77777 C C T P マップバロスがいいがしるける付託計画 	以中心的一种是一种。 	³ 産総研・ ⁴ 横国大理
			´
02.4	中間八級 FOD 1. 見フルペシ 体ラ トッコ 土 主四枚 ナル	○+\++±±12 "=***1	
S24		○松井康哲 1,2 • 阿利拓夢 1 •	
	ボロン錯体の常温リン光機構解析	山本 俊1•濱田美里3•婦	大 RIMED・3 神戸大
		木正明4・小堀康博4・佐藤	院理・4神戸大分子フ
		寛泰 ⁵ · 大垣拓也 ^{1,2} · 太田	オト・5リガク
		英輔 ^{1,2} ・池田 浩 ^{1,2}	
S25		○榎本純哉¹·本村秀磨²·	
	トナノ結晶の作製と LED への応用	千葉貴之 ^{3,4} ・浅倉 聡 ^{1,5} ・	形大工·3 山形大院有
		增原陽人 ^{1,4}	機シス・4山形大有機
			材料シンセ・5伊勢化
			学
S26	PbS セラミックの熱電性における PbI ₂ の添加効果	○大塚佳郁 ¹ ・五十嵐香 ²	1千葉工大院工・
			2千葉工大工
S27	ポーラスシリコンの磁性に対するヨウ素吸着の影響	○瀬端隼人 ¹ ・加納博文 ²	1千葉大院理工・
			2千葉大院理
S28	生体系における甲状腺ホルモン様ヨウ化チロシンの	○柳田祥三¹・村上信行²	¹ 阪大・M3 研究所・
	生成機構:密度汎関数理論に基づく分子モデリング		2 ホロス松戸クリニ
	による検証		ック
S29		○林慎一郎 ¹ · 栗原亮佑 ² ·	1 広国大保険・ ² 広島
	ックゲル線量計の開発	藤野圭介 ² ·小野 薫 ²	平和クリニック
S30		尾野本浩司 1·米山光俊 1·	
550			
330	コリ系の利望コロナリイルA小佰化下角	浅倉 聡 ^{2,5} • 松本伸一 ³ • ○海宝龍夫 ^{4,5}	新化学・ ³ 日宝化: ・